

**アジア・アフリカ地域研究研究科**  
**フィールドワーク・インターンシッププログラム 2011 年度 派遣報告書**

以下の項目について記入してください。全体で 1 ページを超えないようにしてください。

\*ファイル名を「FIP 派遣報告書 2011\_名前」としてください。

**【報告書に記載する内容項目】**

**1. 調査の目的と方法 (200 字以内)**

調査の目的： 7月に総選挙を終えた直後のタイの政治情勢を肌で感じ、タイ国民の抱いている展望や現地の研究者の間で行われている議論を学ぶこと。予備論文執筆のための情報収集(近年のタイ NGO の動向等)。

調査の方法： 現地の政治研究者、学者への訪問による情報収集。NGO 関係者の訪問による情報収集。対立関係にあった住民へのインタビュー。本屋や図書館での先行研究の収集。

**2. フィールドワークで得られた新たな知見 (1000 字以内)**

\*フィールドに行く前に設定した研究の目的がどの程度達成されたかについて、その成果を記述してください。

**①タイ国民のタイ政治に対する今後の展望。タイでの政治に関する議論。**

タイ国民の展望は、大きく分けて 3つの見解にわかれていることがわかった。

- ・ 民主的な選挙によって新たな政権が誕生したために、今後の政情は安定する。
- ・ 選挙結果を不満とする勢力によって、再び政治は混乱する。
- ・ 選挙も終わり表面的には安定するが、タイ政治の根本的な問題は解決していないために、近い将来新たな問題が出現する。

また、政治研究者や学者等との議論からは、タイ政治が民主化するにあたっての根本的な問題はまだ解決されていないといった印象を持った。ここ数年の間に政治的な大転換を迎えるという前提で、その後の情勢に注目している様子だった。

成果： 日本では得られない展望や議論を肌で感じる事ができた。学者等を訪問することで、人脈を拡大することができた。

課題： 今回の調査は主にバンコクと北部のみでの実施だったが、次回は政治色の強いと言われる東北部での実施も検討したい。

**②(予備論文のテーマである) 非政府組織に関する知見。**

非政府組織には様々な団体があり、一概に述べる事が出来ないことがわかった。しかし、中でもとりわけ政治的な非政府組織があり、それらが近年大きな政治的役割を担ってきているため、今後の研究対象はそれらの団体に絞り込むことにした。

成果： 非政府組織に関する現地語の資料や、現地でしか手に入らない資料を多数入手した。また、今後の研究対象として絞り込む団体を特定することができた。

課題： 絞り込む団体を帰国直前から帰国後に決定したため、その団体に関する資料があまり入手できなかった。次回はこれらの資料の収集を試みたい。

**3. 今後の展開・反省点 (300 字以内)**

**【反省点】**

- ・ 訪問する教員の数が現地で五月雨式に増えてしまい、研究テーマの再考や資料収集の時間を十分にとれなかったこと。
- ・ 航空券を日程の変更ができるタイプにしなかったために、重要なセミナーへの参加を逃したこと。
- ・ 渡航前の情報収集が不十分だった為に現地で効率の良い資料収集の仕方がわからなかったこと。

**【今後の展開】**

年末までに収集した資料の整理を行い、予備論文の計画の立て直しを行う。来年の初めから二回目のフィールドワークまでに現地で手に入れなければならない資料を特定し、第二回フィールドワークで予備論文作成にあたっての必要な情報や資料を現地で収集する。帰国後にそれらを元に予備論文執筆を開始する。